

決算説明資料

2014年04月
株式会社タダノ

※予測に関する注意事項

・本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて作成しておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。



会社概要

【会社名】	株式会社タダノ（1948年8月24日設立）創業者 多田野 益雄 1955年国内初の油圧式トラッククレーンを開発		
【代表者】	代表取締役社長（CEO）多田野 宏一		
【本社】	香川県高松市新田町甲34番地		
【主な事業】	建設用クレーン、車両搭載型クレーン、高所作業車の製造販売		
【事業所】	東京事務所（墨田区）、高松工場（高松市）、志度工場（さぬき市）、多度津工場（多度津町）、千葉工場（千葉市）		
【拠点】	（日本）10支店、23営業所（海外）北京事務所、中東事務所（UAE・ドバイ）		
【資本金】	13,021百万円	【株式】発行済	129百万株 株主数 7,987人（14年3月末）
【売上高】	181,764百万円（13年度）		
【従業員数】	連結 3,227人、単独 1,335人（14年3月末）		
【関係会社】	（日本）子会社 10社、関連会社 1社 （海外）子会社 17社、関連会社 2社		
	㈱タダノアイメス ㈱タダノアイレック ㈱タダノエステック ㈱タダノエンジニアリング ㈱タダノテクノ東日本 ㈱タダノテクノ西日本 ㈱タダノ教習センター ㈱タダノ物流 ㈱タダノシステムズ ㈱タダノビジネスサポート 日通重機サービス㈱	タダノ・ファウンGmbH、タダノ・ファウン・シュタールバウGmbH [独] タダノ・ユーケー Ltd. [英]（4月買収） タダノ・アメリカ・ホールディングスInc. [米国] タダノ・アメリカCorp.、タダノ・マンティスCorp. [米国] タダノ・ブラジル・エキバメントス・デ・エレヴァサオンLtda. [ブラジル] 京城多田野（北京）液圧機器有限公司、金天利多田野（河北）金屬加工有限公司 多田野（北京）科貿有限公司、多田野華南有限公司 [中国] 韓国多田野株式会社 [韓国] タダノ・アジアPte.Ltd. [シンガポール]、タダノ・インディアPvt.Ltd. [インド] タダノ・タイランドCo.,Ltd.、タダノ・タイ・パーツ・アンド・サービスCo.,Ltd [タイ] タダノ・オセアニアPty.Ltd. [オーストラリア] 北起多田野（北京）起重機有限公司 [中国] 台湾多田野股份有限公司 [台湾]	



1

13年度決算のポイント

（単位：百万円）

	12年度		13年度		増減率
	金額	比率	金額	比率	
売上高	134,836	100.0%	181,764	100.0%	+34.8%
営業利益	10,925	8.1%	21,140	11.6%	+93.5%
経常利益	11,448	8.5%	21,642	11.9%	+89.0%
当期純利益	7,341	5.4%	14,410	7.9%	+96.3%

設備投資額	2,925百万円	4,178百万円
減価償却費	2,167百万円	2,366百万円
為替レート(US\$)	79.82円	97.65円
為替レート(EUR)	102.63円	129.68円

※設備投資額にはリース資産分を含んでおります。

※為替レートは1-12月期中平均レート（海外子会社12月決算のため）

【13年度の経営方針】

- ①コバリューの追求「安全・品質・効率」
- ②日本は「質」海外は「量」
- ③収益力の強化
- ④中期経営計画（11-13）の仕上げ

◆3期連続の増収増益、過去最高の売上・利益

- ・国内での販売価格の適正化
- ・海外における拡販
- ・原価低減への取組み

◆国内、海外共に売上が増加

⇒国内売上高 686億円 → 862億円(+25.6%)

建設用クレーン、車両搭載型クレーン、
高所作業車が揃って増加

⇒海外売上高 661億円 → 954億円(+44.3%)

需要は若干減少の中、製品の大型化と、
シェアアップにより増加

◆海外売上高比率 49.1% → 52.5%

⇒海外売上高は過去最高
（08年度 893億円を更新）

◆利益は大幅に増加

営業利益	109億円 → 211億円
経常利益	114億円 → 216億円
当期純利益	73億円 → 144億円



2

損益計算書(対前期比較)

(単位:百万円)

	12年度		13年度		比較増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	134,836	100.0%	181,764	100.0%	46,927
売上原価	101,364	75.2%	132,335	72.8%	30,970
割賦販売利益	160	0.1%	76	0.0%	-83
売上総利益	33,631	24.9%	49,505	27.2%	15,873
販管費	22,705	16.8%	28,364	15.6%	5,658
営業利益	10,925	8.1%	21,140	11.6%	10,215
営業外損益	523	0.4%	501	0.3%	-21
経常利益	11,448	8.5%	21,642	11.9%	10,193
特別損益	-76	-0.1%	-231	-0.1%	-155
税引前当期純利益	11,372	8.4%	21,410	11.8%	10,038
法人税等	4,123	3.1%	7,026	3.9%	2,902
少数株主利益	-92	-0.1%	-26	-0.0%	66
当期純利益	7,341	5.4%	14,410	7.9%	7,069

【業績のポイント】

◆売上原価率 75.2% → 72.8%

- ・販売価格の適正化や為替影響、操業度改善・コストダウンによる原価低減により、原価率は前期比 2.4%ポイント改善

◆販管費 56億円増加

- ・人件費増加 +1,840百万円
- ・変動費増加 +1,083百万円
- ・その他諸経費増加 +2,734百万円

◆営業外損益

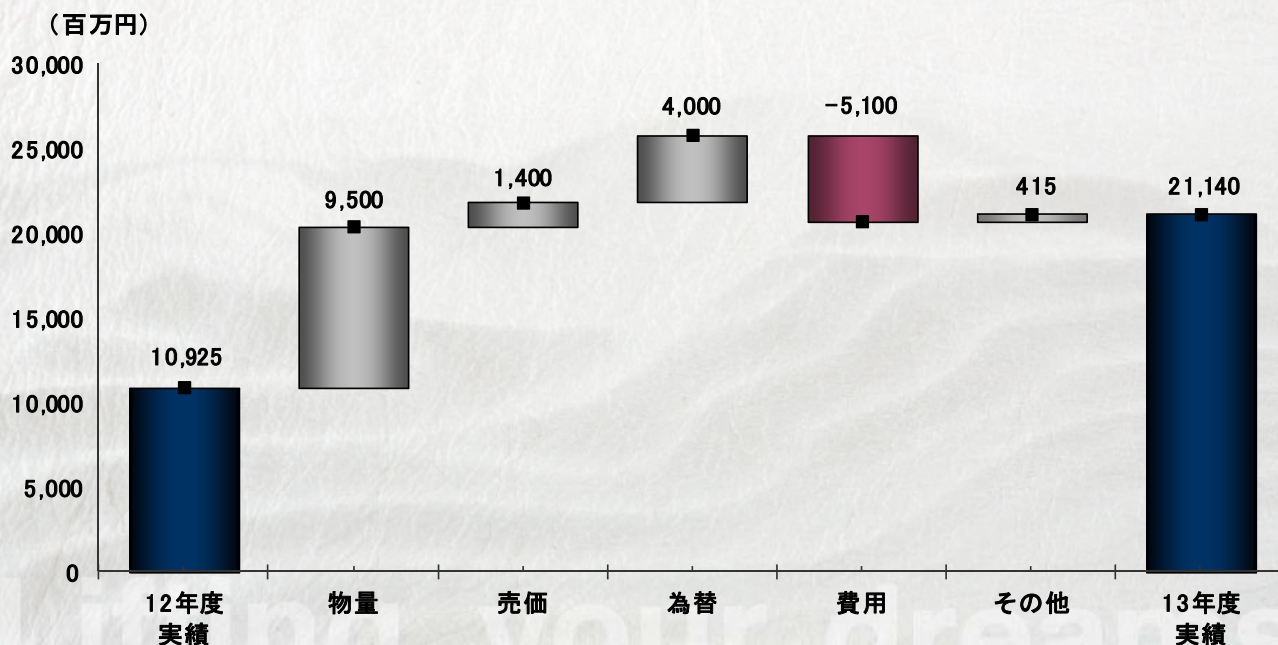
- ・営業外収益 1,518百万円 → 1,353百万円
- ・営業外費用 995百万円 → 852百万円

◆特別損益

- ・特別利益 164百万円 → 7百万円
- ・特別損失 241百万円 → 239百万円

損益計算書(営業利益の増減要因)

売上増により利益が大幅に増加。販売価格の適正化、為替影響もあり、営業利益は102億円の増加。



貸借対照表(対前期末比較)

(単位:百万円)

	12年度末		13年度末		比較増減
	金額	比率	金額	比率	
手許資金	39,582	22.3%	48,365	24.3%	8,782
売上債権	40,820	23.0%	48,259	24.3%	7,439
たな卸資産	45,341	25.5%	45,968	23.1%	626
その他	6,400	3.6%	8,074	4.1%	1,674
流動資産計	132,144	74.4%	150,668	75.7%	18,523
有形固定資産	34,584	19.5%	36,859	18.5%	2,274
無形固定資産	776	0.4%	857	0.4%	80
投資その他の資産	10,105	5.7%	10,559	5.3%	453
固定資産計	45,466	25.6%	48,275	24.3%	2,809
資産合計	177,611	100.0%	198,944	100.0%	21,332

仕入債務	31,094	17.5%	30,036	15.1%	-1,057
有利子負債	38,706	21.8%	38,233	19.2%	-473
その他	21,136	11.9%	27,708	13.9%	6,571
負債計	90,937	51.2%	95,978	48.2%	5,041
純資産計	86,674	48.8%	102,965	51.8%	16,291
負債・純資産計	177,611	100.0%	198,944	100.0%	21,332

【増減のポイント】

◆売上債権は増加

408億円 → 482億円

⇒売上債権回転期間は改善

(12年度:110.5日→13年度:96.9日)

◆たな卸資産は横ばい

453億円 → 459億円

(459億円のうちTFG分138億円)

⇒たな卸資産回転期間は改善

(12年度:122.7日→13年度:92.3日)

◆有利子負債は横ばい

387億円 → 382億円

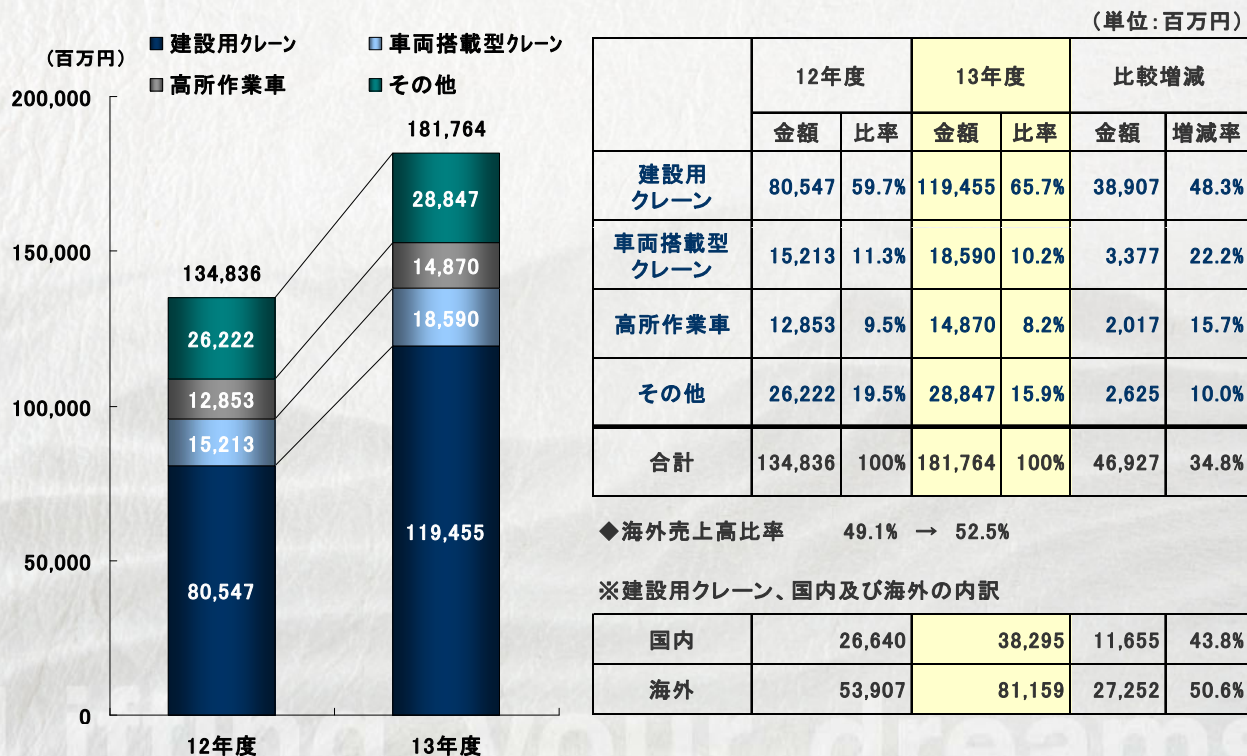
⇒短期 123億円増加、長期 128億円減少

キャッシュ・フローの概要

税引前当期利益の計上により有形固定資産の取得や借入金の返済を行い、総合キャッシュ・フローは86億円の増加。

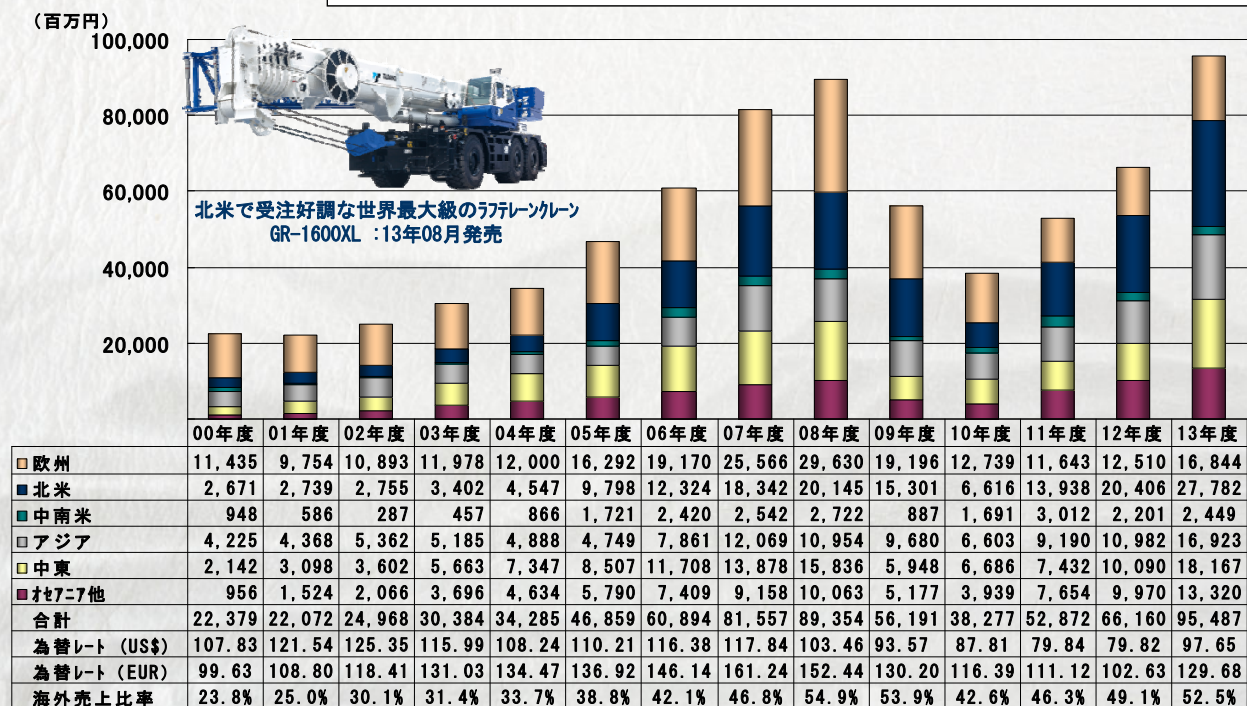


製品別売上高



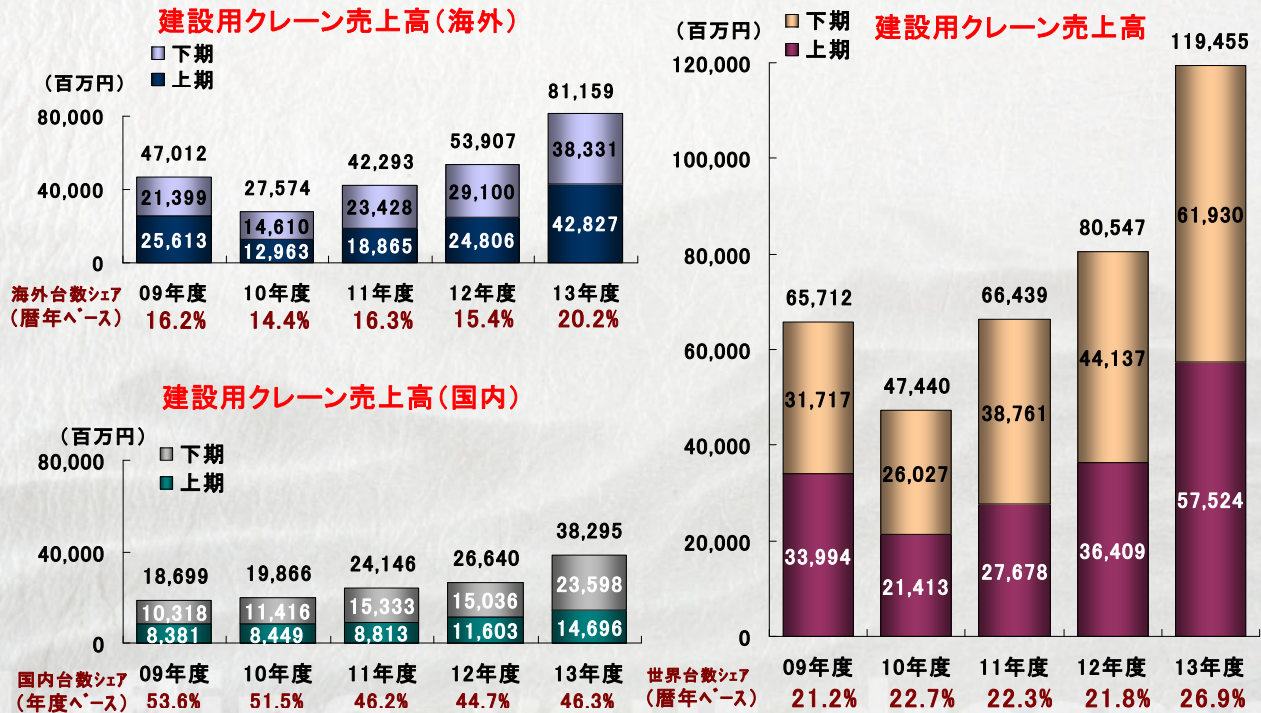
海外仕向地別売上高推移

海外売上は、ピーク時売上の半分以下となった10年度を底に反転、回復基調。
欧州+34.6%、北米+36.1%、中南米+11.3%、アジア+54.1%、中東+80.0%、オセアニア他+33.6%(前期比)。

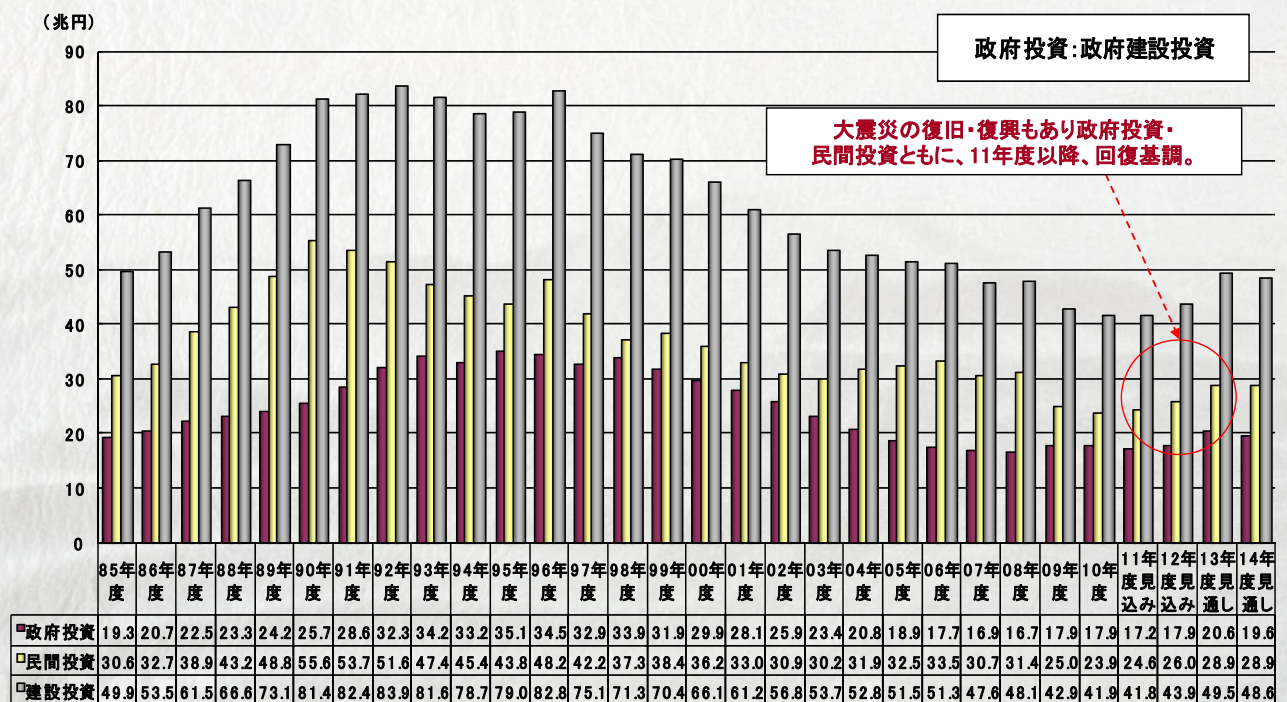


※為替レートは期中平均レート (海外子会社12月決算のため、通期1-12月平均)
01年度以前はDMをEURに換算したものを表示しております。

建設用クレーン

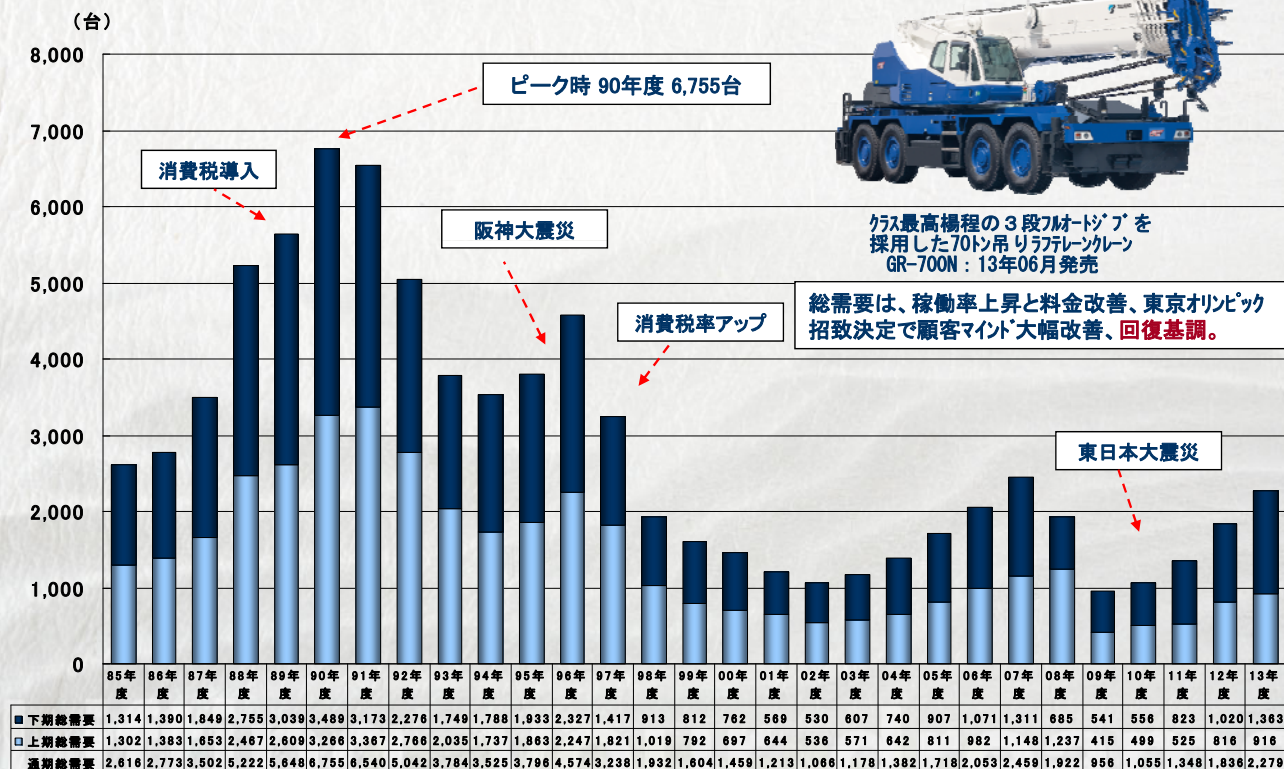


国内建設投資の推移と見通し



※ 数字はすべて名目建設投資。予測は、(財)建設経済研究所の「建設投資の見通し」(14年4月23日発表)による。

建設用クレーンの国内総需要の推移



TADANO

11

建設用クレーン

国内シェア 44.7%→46.3%

油圧式建設用クレーン国内総需要 2,279台 (13年度、当社調べ) 前期比24.1%増

⇒需要が増加する中、新排出ガス規制対応製品の拡販に注力。トン数シェア740.9%→46.1%。

国内売上高は382億9千5百万円 (前期比 143.8%)

【ラフテレーンクレーン】

- 国内建設用クレーンの中心機種
国内総需要の95% (北米総需要の63%)
- 市街地の建築工事に欠かせない都市型クレーン
- コンパクトな車体で、狭小地でも性能発揮
(前輪、後輪共にステアリング可能)
- クレーンの運転席と自動車の運転席が兼用
- 国内向け13～70t吊り 4機種
海外向け12～145t吊り 6機種
(国内海外向け共にタダノ製造、動態管理システム搭載)
- 国内は一般道走行
北米はトレーラー輸送

GR-130NL



写真製品 : 13年10月新発売

【オールテレーンクレーン】

- 国内では都市開発、高架・橋梁工事向けの大型クレーン
国内総需要の5%
(欧州総需要の85%)
- 遠距離走行性に加え
小回り性にも優れる。
(ステアリングに特徴)

ATF300G



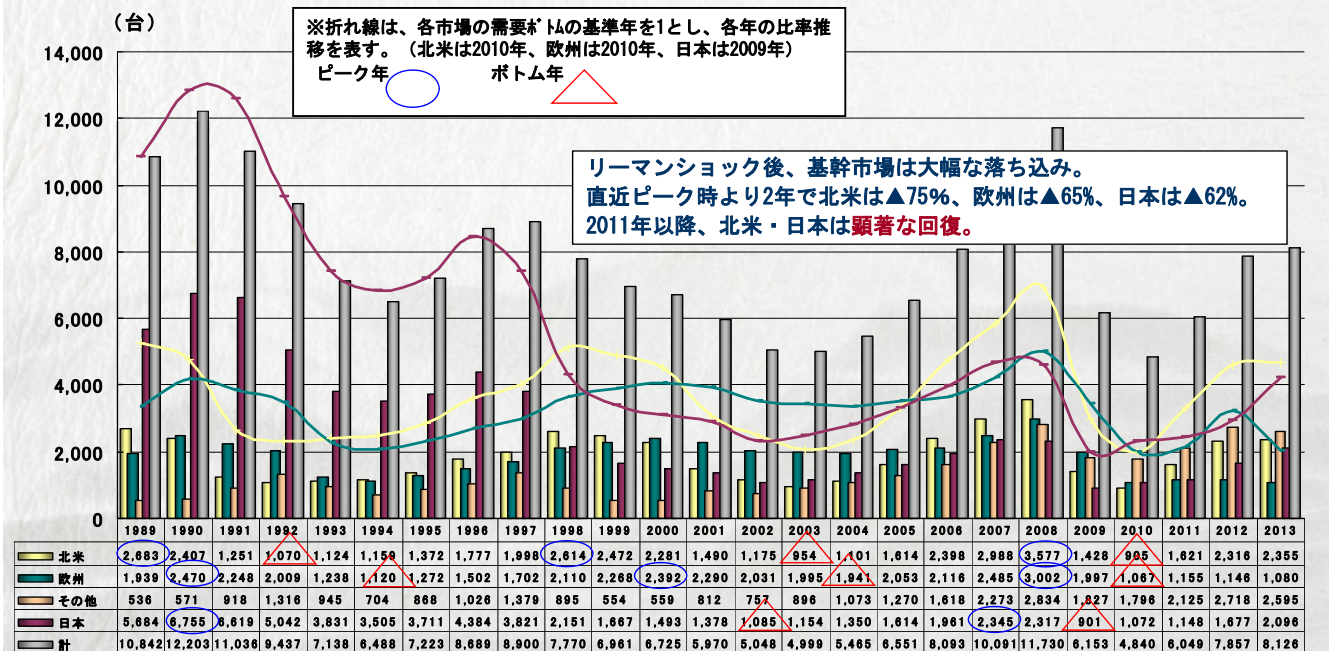
写真製品 : 13年05月発売

- 国内向け60～550t吊り 7機種 (独TFG製造、タダノ製造)
- 海外向け40～400t吊り 9機種 (独TFG製造)
- 国内一般道走行時には分解搬送が必要
欧州では分解走行不要

TADANO

12

建設用クレーンの世界総需要の推移(13年1-12月暦年ベース)

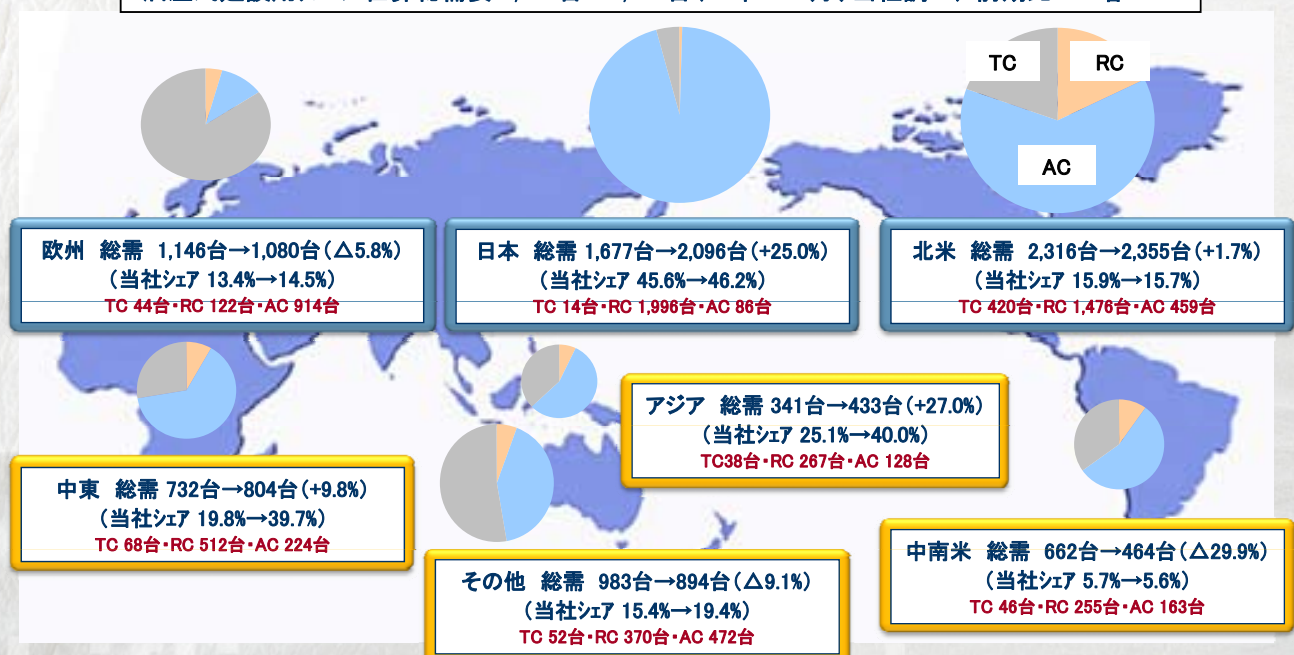


1. 海外市場の89～91年はSYSTEMATIC及びCIMAの統計データより当社推計。92年以降はCIMA/CEMA/FEMの統計データより当社推計
2. 中国・ロシア国産の建設用クレーンは上記に含まず。

建設用クレーン 地域別需要機種構成(13年1-12月暦年ベース)

世界シェア 21.8%→26.9% (世界総需要に中国・ロシア国産含まず)

油圧式建設用クレーン 世界総需要 7,857台→8,126台(13年1-12月、当社調べ) 前期比3.4%増



※TCはトラッククレーン、RCはラフテレーンクレーン、ACはオールテレーンクレーンを表す。
数値は、当社推計。その他は、オセアニア、ロシア、アフリカ。台数・シェアは、前年同期からの変化を示す。

欧州事業

＜欧州事業の課題＞

オールテレーンクレーンのフルレンジ化、
欧州でのシェアアップと欧州域外への拡販

●欧州グループ会社の概要

【TADANO FAUN GmbH】

90年に買収、資本金：45百万EUR 当社100%出資
所在地：ドイツ国バイエルン州
事業内容：建設用クレーンの開発・製造・販売
代表者：社長 アレクサンダー・クネヒト、従業員：607人
売上高の推移：
08年：346百万EUR/502台、09年：270百万EUR/381台
10年：178百万EUR/213台、11年：199百万EUR/248台
12年：268百万EUR/294台、13年：313百万EUR/329台

【TADANO FAUN Stahlbau GmbH (タダノファウンシュタールバウ)】

資本金：650千EUR (出資比率 TFG社 80%、7ムン10%、香西鉄工所10%)
設立：08年9月、所在地：ドイツ国バイエルン州TFG社工場内
事業内容：TFG社向け建設用クレーン部品(ジブ等)の製造
代表者：社長 ラルフ・ゾントーク、従業員：8人

【TADANO UK Ltd.】

14年4月に買収、資本金：2,000千ポンド
所在地：英国サウスヨークシャー州
事業内容：建設用クレーン等の販売、サービス
代表者：社長 トマス・シラム、従業員：17人

●オールテレーンクレーンのフルレンジ化の加速

40～400tの9機種をラインアップ



ATF400G



TFG試験場

12年9月より使用開始



17

米州事業

＜米州事業の課題＞

北米でのシェアアップと中南米の取り組み

●米州グループ会社の概要

【TADANO America Holdings, Inc.】

資本金：51百万USD 当社100%出資
所在地：米国テキサス州、事業内容：米州持株会社
代表者：社長 柿沼 陽

【TADANO America Corp.】

資本金：2.5百万USD TAHI社100%出資、所在地：TAHIと同じ
事業内容：建設用クレーンの販売
代表者：社長 柿沼 陽、従業員：62人
売上高の推移：08年 145百万USD、09年 105百万USD、10年 78百万USD、
11年 183百万USD、12年 249百万USD、13年262百万USD

【TADANO Mantis Corp.】

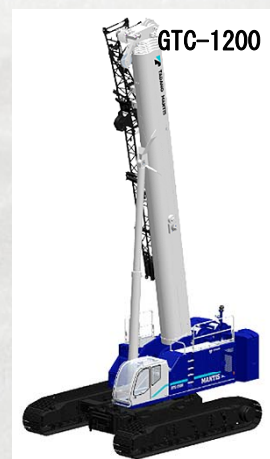
08年に買収、資本金：287千USD TAHI社100%出資
所在地：米国テキサス州、事業内容：油圧伸縮ブーム式クレーンの製造・販売
代表者：社長 森田 士朗、従業員：143人
主要製品：伸縮ブーム式クレーン（履帯式の足回りを持つキャリアに油圧伸縮するブームを持つクレーンを組み合わせた製品）。主に土木・建設工事に使われ、不整地や泥濘地、トンネル内での作業などに適する。
売上高の推移：08年 41百万USD、09年 33百万USD、10年 16百万USD
11年 34百万USD、12年 39百万USD、13年 36百万USD

【TADANO BRASIL EQUIPAMENTOS DE ELEVACAO LTDA.】

資本金：30百万R\$ 当社グループ100%出資
所在地：ブラジル共和国サンパウロ州、事業内容：建設用クレーン等の販売・サービス
代表者：社長 永井 啓介、従業員：12人



TADANO America Corp.



GTC-1200

(写真製品：ConExpoに出展
タダノとの共同開発による
TMC初のラウンドブーム採用)



18

中国事業

＜中国事業の課題＞

コストダウン・品質向上の実現、中国国内での拡販と中国からの輸出増

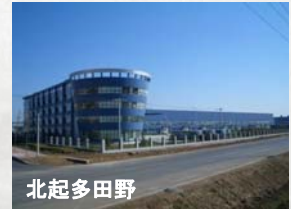
●油圧式クレーンの中国市場の状況

13年暦年の油圧式クレーン総需要は17,000台（▲23%）、中国国産のトラッククレーンがほとんど（当社調べ）
09年27,000台（+26%）→10年35,000台（+30%）→11年35,000台（±0%）→12年22,000（▲37%）
なお、吊り上げ能力25t以下の小振りのクレーンが、13年総需要の83%と大半を占める。個人ユーザー増加と推定。

●中国グループ会社の概要

【北起多田野（北京）起重機有限公司】

資本金：30百万USD 当社50%、北京京城重工機械有限責任公司50%出資（設立03年3月）
所在地：北京市順義区林河（北京市街から約25km北西）工場3.6万㎡、工場用地12万㎡
事業内容：トラッククレーン等の製造販売、8～100t吊りTC 8機種
総経理 内田 秀三（当社）、従業員 302人



北起多田野

【京城多田野（北京）液圧機器有限公司】の概要

資本金4百万USD：当社65%、三村鉄工5%、村上製作所5%、京城重工25%（設立07年9月）
所在地：北京市通州区（北京市街から約20km東）、工場0.8万㎡、工場用地1.3万㎡
総経理 村上 照幸（当社）、従業員62人
事業内容：建機用油圧部品（バルブ、ロータリージョイント、小型シリンダ、配管等）の製造販売



京城多田野

【金天利多田野（河北）金属加工有限公司】の概要

資本金5.5百万USD：当社56%、アムロン5%、カワニシ5%、河北金天利34%（設立10年1月）
所在地：河北省涿州市開発区（北京市街から約60km南西）、工場1万㎡、工場用地3.3万㎡
総経理 村上 照幸（当社）、従業員78人
事業内容：建機用金属加工部品（ブーム、ジブ、アウリガ等）の製造販売。



金天利多田野

【多田野（北京）科貿有限公司】の概要

資本金5百万USD：当社100%（設立12年3月）
所在地：北京市朝陽区
総経理 平野 正俊（当社）、従業員7人
事業内容：建設用クレーンの販売・サービス



2003年以降の海外展開 ～13社設立・買収、5拠点新設～



車両搭載型クレーン

【カーゴクレーン】国内シェア 47.4%→48.2%

国内総需要 16,150台（13年度、当社調べ） 前期比20.6%増

⇒トラック需要の増加と搭載率が高水準で推移したことにより、
売上高は、185億9千万円（前期比 122.2%）

- ・通常のトラックに架装した小型クレーン、貨物の積載・運搬・設置作業等が1台で可
- ・物流用途、造園業や建設業用途、トラックメーカーの間接販売
- ・小型・中型・大型トラック架装用に多数の機種 0.49t～4.9t吊り

～監督官庁～

・主に厚生労働省（クレーンの規制）

～主な販売先と特徴～

・国内トラックメーカー

・トラック需要に左右される傾向

（海外展開）

- ・カーゴクレーンの戦略市場向け輸出に注力。クレーン部を輸出し、現地にてトラックに架装。

12年度売上：12.3億円 → 13年度売上：14.1億円

- ・12年4月にタイに製造子会社を設立し、海外展開を加速。



（写真製品：輸出カーゴクレーンZR560）



ZE600

（写真製品：積載型クレーン初の「アイドリングストップ」機能をオプション設定

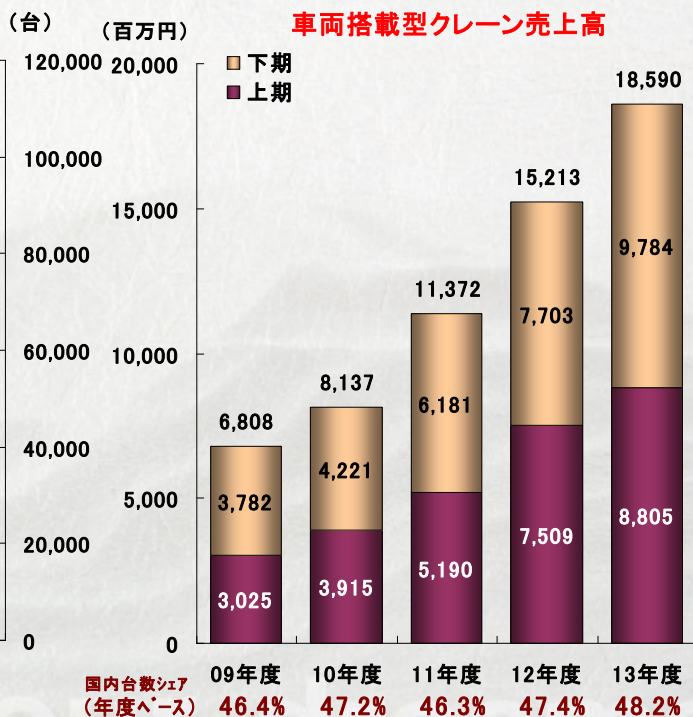
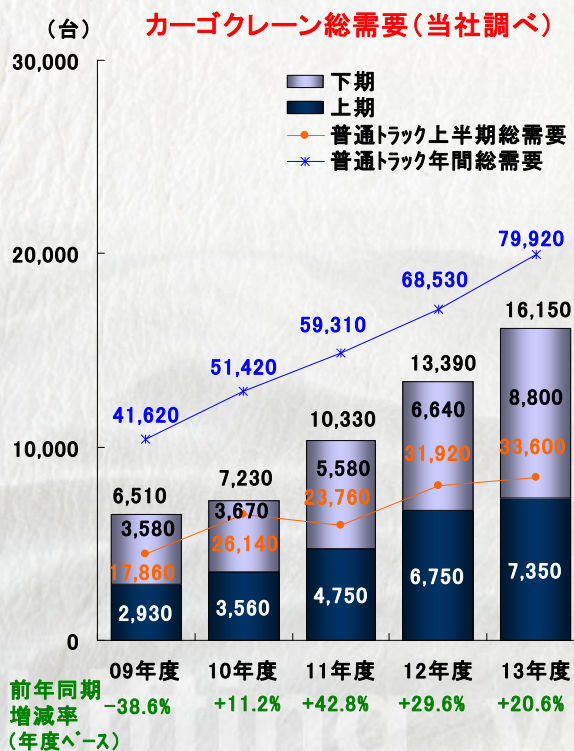


SS-38F

（写真製品：スライドキャリア（車両運搬車）13年12月新発売）



車両搭載型クレーン



車両搭載型クレーン ～グローバル化の第一歩～

【 TADANO (Thailand) Co.,Ltd. 】

資本金：310百万THB 当社100%出資
設立：12年4月（13年6月操業開始）
所在地：タイ国チョン県ヘマート・イスタンブール工業団地内
事業内容：カーゴクレーンの製造・販売
生産能力：1,000台/年（13年操業開始時）
代表者：社長 倉前 保公
事業計画：
18年 売上高1,150百万THB 生産台数 2,000台

- 建設用クレーン以外の初の海外生産拠点を設立。
本製造子会社設立により、海外展開をさらに加速
させるとともに、収益性の向上を目指す。



2013年5月 TADANO (Thailand) 工場開所式

ZT500



(写真製品：タイ工場で生産のカーゴクレーン ZT500)



TADANO (Thailand)



Lifting your dreams



高所作業車

国内シェア 38.3%→37.5%

トラック搭載タイプ 国内総需要 3,827台（13年度、当社調べ） 前期比17.2%増

⇒電力電気向け需要は低水準であったものの、設備投資意欲が旺盛なレンタル業界向け需要を背景に、売上高は、148億7千万円（前期比 115.7%）

- ・電気・通信工事用
（通信用6機種、電工用3機種）
- ・看板や内外装等の一般工事用
（一般用13機種、ホイル2機種）
- ・足回りはトラックだけでなく、
ホイルもあり
- ・高度な制御技術を装備した
独自製品「スーパーデッキ」5機種
- ・高架道路や橋梁点検のための
「高架橋梁点検車」3機種



AT-120SRM<スーパーデッキ>

～監督官庁～

- ・主に厚生労働省（高所作業車の規制）

～主な販売先と特徴～

- ・電力電気、通信、インフラ、一般、造船、国土交通省。
- ・当社は、高付加価値のスーパーデッキ及び高架橋梁点検車の販売に注力

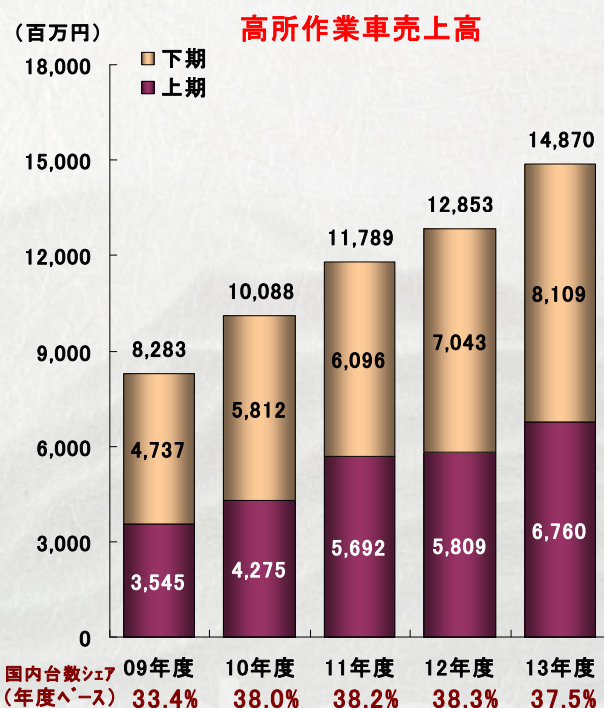
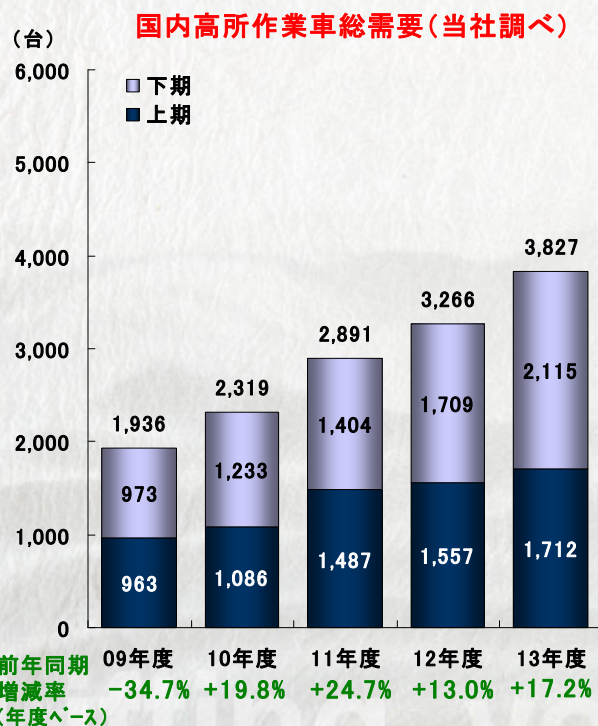


トンネル内の工事・点検作業等の連続作業において、作業効率を飛躍的に向上させるローラージャッキ仕様。



24

高所作業車



25

その他

⇒ 部品、修理、中古車等のその他売上高は、288億4千7百万円（前期比 110.0%）

【中古クレーン】

- ・ 国内市場は震災復興工事や減災・防災工事により稼働が好調なことから品不足。
- ・ 当期は、国内は減少、海外は増加。

【部品修理】

- ・ 当社は、修理用の部品売上を計上
（修理は、主に国内指定サービス工場や海外代理店が担当し、サービス工場や海外代理店で売上計上）
- ・ 当期は、国内海外ともに増加。



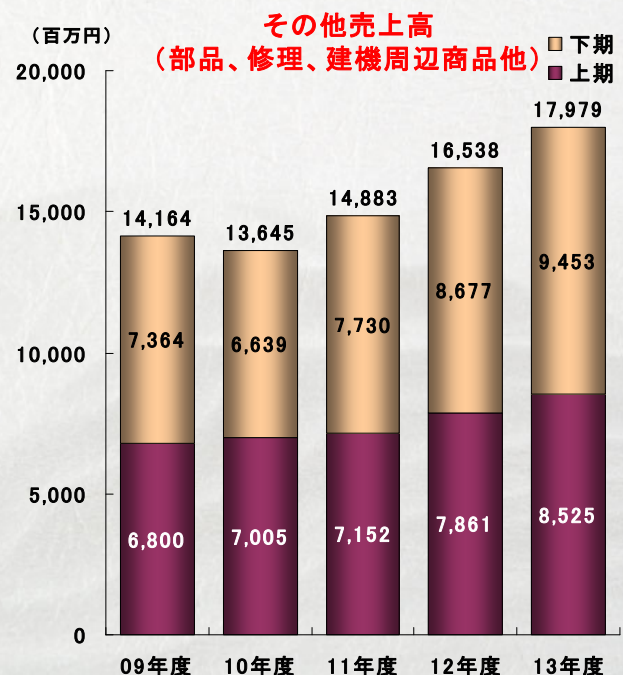
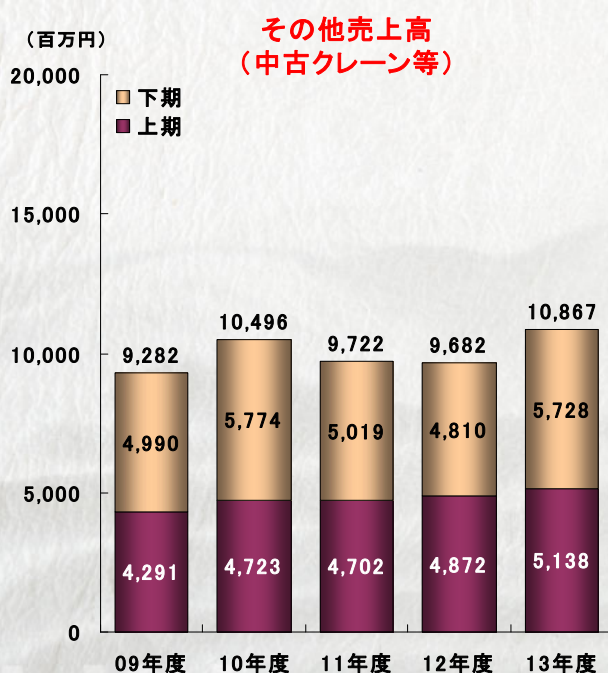
オールテレーンクレーンATF400Gのブーム着脱作業例

写真製品 CL-500 : 13年08月発売

【オールテレーンクレーン着脱リフター】

- ・ 公道走行に際して、法令に基づき分解・搬送を必要とする国内オールテレーンクレーンの着脱用リフター

その他



14年度業績予想

(単位:百万円)

	13年度		14年度予想		増減率
	金額	比率	金額	比率	
売上高	181,764	100.0%	192,000	100.0%	+5.6%
営業利益	21,140	11.6%	23,000	12.0%	+8.8%
経常利益	21,642	11.9%	22,500	11.7%	+4.0%
当期純利益	14,410	7.9%	14,700	7.7%	+2.0%

1株当たり配当金	中間	9.00円	中間	10.00円
	期末	10.00円	期末	10.00円
	年間	19.00円	年間	20.00円

設備投資額	4,178百万円	5,000百万円
減価償却費	2,366百万円	2,800百万円
為替レート(US\$)	97.65円	100.00円
為替レート(EUR)	129.68円	135.00円

※設備投資額にはリース資産分を含んでおります。

【14年度の経営方針】

- ①コアバリューの追求「安全・品質・効率」
- ②中計(14-16)初年度としての取り組み
 - ・基幹市場拡充・戦略市場拡大
 - ・収益力強化
 - ・質の向上・追求

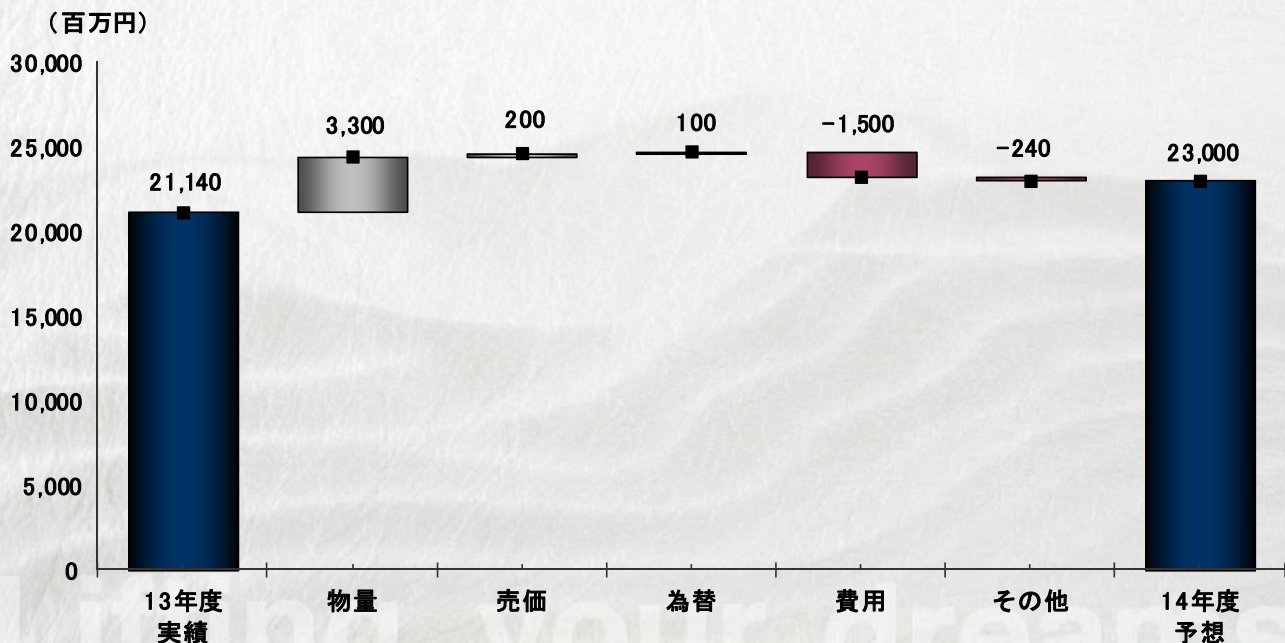
【中期経営計画(14-16)7つの戦略】

- ①基幹市場の拡充と戦略市場の拡大
- ②No.1商品の提供とラインナップの充実
- ③グローバル&フレキシブルものづくりへの取り組み
- ④感動品質、感動サービスの提供
- ⑤ライフサイクル価値の向上
- ⑥収益力のレベルアップ
- ⑦グループ&グローバル経営基盤の強化

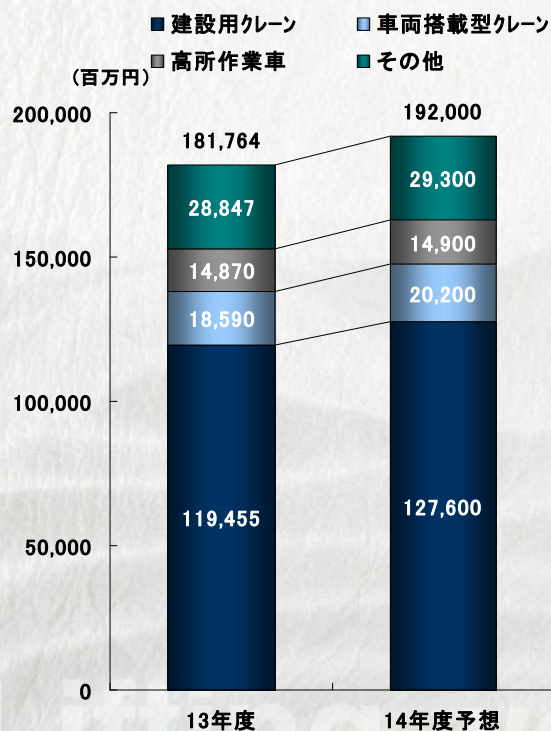
■14年度通期海外売上高比率 53.1%

14年度業績予想(営業利益の増減要因)

国内及び海外での拡販に注力し、費用増加を吸収して営業利益は19億円の増加。



14年度業績予想(製品別売上高)



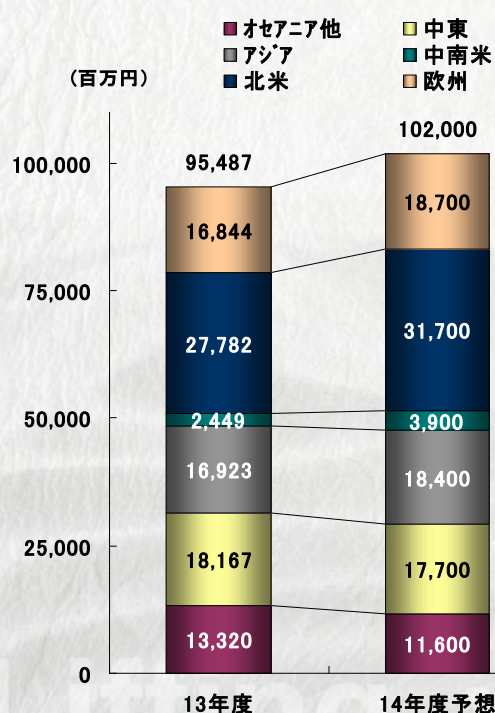
	13年度		14年度予想		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
建設用クレーン	119,455	65.7%	127,600	66.5%	8,145	6.8%
車両搭載型クレーン	18,590	10.2%	20,200	10.5%	1,610	8.7%
高所作業車	14,870	8.2%	14,900	7.8%	30	0.2%
その他	28,847	15.9%	29,300	15.2%	453	1.6%
合計	181,764	100%	192,000	100%	10,236	5.6%

◆海外売上高比率 52.5% → 53.1%

※建設用クレーン、国内及び海外の内訳

	13年度	14年度予想	比較増減	増減率
国内	38,295	41,000	2,705	7.1%
海外	81,159	86,600	5,441	6.7%

14年度業績予想(仕向地別売上高)



	13年度		14年度予想		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
欧州	16,844	9.3%	18,700	9.7%	1,856	11.0%
北米	27,782	15.3%	31,700	16.5%	3,918	14.1%
中南米	2,449	1.3%	3,900	2.0%	1,451	59.2%
アジア	16,923	9.3%	18,400	9.6%	1,477	8.7%
中東	18,167	10.0%	17,700	9.2%	-467	-2.6%
オセアニア他	13,320	7.3%	11,600	6.1%	-1,720	-12.9%
小計(海外計)	95,487	52.5%	102,000	53.1%	6,513	6.8%
日本	86,276	47.5%	90,000	46.9%	3,724	4.3%

※左のグラフには、日本を含んでおりません。

TOPICS

◆「世界3大建機展 ConExpo 2014」出展

2014年3月4日～8日(5日間)、米ラスベガスにて開催。

前回のConExpo2011では、各国から2,400社参加、来場者数は世界中から12万人以上。

AC 2機種 ATF400G-6、ATF220G-5

RC 4機種 GR-1600XL-2、GR-1000XL-2、GR-750XL-2、GR-150XL-1

TBC 1機種 GTC-1200



32

Lifting your dreams

